



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年1月30日

上場会社名 T D S E 株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7046 URL <http://www.tdse.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東垣 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 田中 秀幸 (TEL) 03-6383-3261
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2,171	10.7	147	1.5	164	3.8	112	5.2		
2025年3月期第3四半期	1,962	4.6	145	△19.2	158	△12.2	106	△13.1	
		1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
		円 銭			円 銭				
2026年3月期第3四半期	53.81		—		—		—		
2025年3月期第3四半期	51.35		—		—		—		

(注) 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2,737	2,311	84.4	
2025年3月期	2,731	2,209	80.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 2,310百万円 2025年3月期 2,208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
—	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	円 銭
3,000	11.1	200	0.7	204	1.3
				137	0.3
					65.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	2,200,000株	2025年3月期	2,200,000株
2026年3月期3Q	106,842株	2025年3月期	114,169株
2026年3月期3Q	2,090,102株	2025年3月期3Q	2,081,805株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料4ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の国内経済は、穏やかな回復基調が続きましたが、米国の通商政策に伴う国際経済環境への影響、国際情勢による地政学的リスクの影響等もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。一方で、情報サービス産業においては、企業の競争力強化、生産性向上のためのDX関連投資の意欲は引き続き高い状況にあり、とりわけ、生成AIやAIエージェントを活用したDX市場は拡大しております。

このような状況の下、当社は2023年に策定した中長期目標の第1フェーズである2024年3月期から2026年3月期までの3カ年を対象とした「MISSION 2025」の最終年度にあたるなか、「MISSION 2025」で掲げるコンサルティングサービスの持続的な成長を達成し、並行してプロダクトサービスのラインナップを全社挙げて強化するというテーマの実現に向けて事業を推進しております。また、生成AI市場の急成長を背景に、AIエージェント技術の導入と実用化を推進するため、企業向けAIエージェントサービスの提供を開始しております。

コンサルティングサービスでは、技術面においては、生成AI領域の拡大に向けたソリューション作成、「Databricks」活用によるデータマネジメント領域の強化を進めております。営業面においては、今期増強した営業組織と新たに設立したプリセールス活動の専任組織による営業強化、生成AIや「Databricks」に関する発信強化、協業企業とのアライアンスを活用した受注獲得に取り組んでおります。

プロダクトサービスでは、仕入製品としては製品力に優れ世界的な有名企業で活用されているQUID製品の販売強化、当社オリジナル製品であるレビュー分析に特化したAIエージェント「TDSE KAIZODE」（以下「KAIZODE」）の付加価値向上に取り組んでおります。

AIエージェントサービスでは、「Dify」を軸とする最新の生成AI技術を踏まえたAIエージェントに関するソリューション開発及びデリバリー強化に取り組んでおります。また、ジーデップ・アドバンス社と協業し、「Dify」を用いた生成AIの開発をNVIDIA DGX™ B200のプライベートクラウド上で利用するサービスの提供を2025年6月23日より開始しております。

以上のとおり取組んできた結果、当第3四半期累計期間の業績においては、売上高は、プロダクトサービス及びAIエージェントサービスが順調に拡大したことにより、2,171,161千円（前期比10.7%増）となりました。利益面では、コンサルティング事業強化のための人事費、新設のAIエージェント部門立ち上げに伴う人事費等が増加しましたが、売上高が増加したことにより、営業利益は147,690千円（前期比1.5%増）、経常利益は164,706千円（前期比3.8%増）、四半期純利益は112,473千円（前期比5.2%増）となりました。

なお各四半期では、以下のとおりとなっております。

	当第1四半期会計期間						当第3四半期累計期間	
	当第2四半期会計期間		当第3四半期会計期間		当第3四半期累計期間			
	前年同期 実績							
売上高	670,732	615,904	745,234	649,807	755,194	696,339	2,171,161	1,962,051
営業利益	6,574	32,885	36,196	48,053	104,920	64,585	147,690	145,524
経常利益	3,954	34,450	42,858	44,628	117,893	79,627	164,706	158,706
四半期純利益	2,477	22,827	28,999	29,775	80,996	54,302	112,473	106,906

○コンサルティングサービス

データ経営を目指す企業向けにAIを中心とした統合型ソリューションサービスを提供しています。具体的には、企業のデジタルトランスフォーメーションと共に推進していくため、企業が進める事業戦略に沿う形で、データ活用のテーマ抽出→データ分析/AIモデル構築→AIシステム構築/実装→保守/チューニングに加え、教育まで一気通貫したコンサルティングサービスを提供しています。

○プロダクトサービス

自社および他社のAI製品並びにサービスの製品販売を顧客企業に提供し、サービス利用料ならびに運用・保守料を受領しています。当社独自製品であるレビュー分析に特化したAIエージェントの「KAIZODE」や、海外製品のソーシャルアナリティクスツールの「Quid Monitor」を提供しています。

○AIエージェントサービス

最新の生成AI技術を加えたAIエージェントを提供しています。具体的には、業務フローの自動化または効率化できる項目を洗い出すアセスメント、顧客に適したAIエージェントの構築、顧客の生成AI環境の構築を提供しています。また、ノーコードで直感的に生成AIサービスを構築可能な日本語対応のプラットフォームである「Dify」、業務システムと連携し人との対話（自然言語）よりルーティン化された業務を自動化する対話型AIプラットフォーム製品「Cognigy」を提供しています。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ5,175千円増加し、2,737,041千円となりました。

(流動資産)

流動資産の残高は、前事業年度末と比べ44,267千円増加し、2,510,103千円となりました。これは主にプロダクトサービスに関連する前渡金が18,259千円増加及び前払費用が16,049千円増加したこと等によるものであります。

(固定資産)

固定資産の残高は、前事業年度末と比べ39,092千円減少し、226,938千円となりました。これは主に繰延税金資産が18,339千円、保険積立金が5,810千円それぞれ減少したこと加え、減価償却の進展により、償却資産が12,954千円減少したこと等によるものであります。

② 負債

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ97,083千円減少し、425,740千円となりました。

(流動負債)

流動負債の残高は、前事業年度末と比べ97,083千円減少し、405,740千円となりました。これは主に社会保険料等の未払費用が12,020千円増加したものの、中間納税等により未払法人税等が64,373千円減少及び賞与引当金が37,859千円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

固定負債の残高は、前事業年度末から変動ありません。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ102,258千円増加し、2,311,301千円となりました。これは主に当第3四半期までの四半期純利益として112,473千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期以降については、コンサルティングサービスは、技術面においては、市場が拡大しているAIエージェントを含む生成AIソリューションをAIエージェントサービスと連携しながら強化、また「Databricks」を軸とするデータマネジメント領域のソリューションを強化し、当該領域に強いエンジニア人財の獲得に取り組みます。営業面においては、生成AIソリューション及び「Databricks」に関する発信強化、協業企業とのアライアンスを活用した受注獲得に取り組みます。プロダクトサービスは、自社製品の「TDSE KAIZODE」の付加価値強化、仕入商品であるQUID製品の販売強化に取り組みます。AIエージェントサービスは、高度な業務ニーズやセキュリティ面に対応するソリューションを「Dify」を軸に強化し、AIエージェントソリューションの充実と展開、体制の強化に取り組みます。

2026年3月期の業績予想については、2025年10月31日に公表しました業績予想に変更はございません。今後の状況や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

※業績予想の数値は、当社が現在入手できる範囲で得られた情報をもとに作成した業績予想であり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,955,492	1,965,454
売掛金及び契約資産	330,402	331,109
仕掛品	—	31
貯蔵品	327	267
前渡金	141,545	159,804
前払費用	37,384	53,434
その他	682	—
流動資産合計	2,465,835	2,510,103
固定資産		
有形固定資産		
建物	36,572	36,572
減価償却累計額	△35,345	△36,572
建物（純額）	1,226	0
工具、器具及び備品	2,942	3,172
減価償却累計額	△2,431	△2,677
工具、器具及び備品（純額）	510	495
リース資産	1,344	1,075
減価償却累計額	△1,164	△627
リース資産（純額）	179	448
有形固定資産合計	1,916	943
無形固定資産		
ソフトウエア	53,098	41,117
無形固定資産合計	53,098	41,117
投資その他の資産		
長期前払費用	4,826	4,108
繰延税金資産	89,709	71,370
敷金及び保証金	74,220	72,763
保険積立金	42,079	36,269
その他	179	365
投資その他の資産合計	211,015	184,877
固定資産合計	266,030	226,938
資産合計	2,731,866	2,737,041

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,496	39,556
リース債務	931	1,226
未払金	26,476	19,255
未払費用	35,117	47,138
未払法人税等	72,545	8,172
未払消費税等	48,359	53,170
前受金	169,299	175,608
預り金	13,154	14,027
受注損失引当金	4,000	—
賞与引当金	85,444	47,584
流動負債合計	502,824	405,740
固定負債		
資産除去債務	20,000	20,000
固定負債合計	20,000	20,000
負債合計	522,824	425,740
純資産の部		
株主資本		
資本金	833,180	833,180
資本剰余金	333,912	341,961
利益剰余金	1,081,155	1,172,770
自己株式	△39,981	△37,387
株主資本合計	2,208,265	2,310,524
新株予約権	776	776
純資産合計	2,209,042	2,311,301
負債純資産合計	2,731,866	2,737,041

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,962,051	2,171,161
売上原価	1,293,856	1,360,436
売上総利益	668,195	810,725
販売費及び一般管理費	522,670	663,034
営業利益	145,524	147,690
営業外収益		
受取利息	153	1,829
為替差益	11,473	10,915
確定拠出年金返還金	1,188	2,664
補助金収入	100	200
その他	266	1,486
営業外収益合計	13,181	17,096
営業外費用		
その他	0	80
営業外費用合計	0	80
経常利益	158,706	164,706
特別利益		
保険解約返戻金	—	653
特別利益合計	—	653
特別損失		
保険解約損	—	130
固定資産除却損	174	—
特別損失合計	174	130
税引前四半期純利益	158,532	165,229
法人税、住民税及び事業税	58,947	34,416
法人税等調整額	△7,320	18,339
法人税等合計	51,626	52,755
四半期純利益	106,906	112,473

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ビッグデータ・AIソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	17,201千円	14,259千円